

都市再生整備計画 事後評価シート
東海道原宿地区

平成27年3月

静岡県沼津市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	静岡県	市町村名	沼津市	地区名	東海道原宿地区			面積	81ha
交付期間	平成23年度～平成26年度	事後評価実施時期	平成26年度	交付対象事業費	148.9百万円	国費率	0.4		

1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	【道路】市道2221号線他(市道2215号線、市道2219号線、市道2220号線、市道2222号線、市道2209号線、市道2287号線、市道2218号線) 【地域生活基盤施設】帯笑園(広場)、白隠のみち(情報板) 【高質空間形成施設】白隠のみち(カラー舗装、街灯)								
		提案事業	【地域創造支援事業】沼津市白隠のみち地区沿道緑化等促進事業 【事業活用調査】事業効果分析								
	当初計画から削除した事業	基幹事業	【道路】市道2209号線、市道2287号線、市道2218号線、市道2221号線	削除/追加の理由	優先事業の遅れにより、整備期間中における実施が困難となり、事業を削除。					削除/追加による目標、指標、数値目標への影響	地区の歴史的資源がまちづくりに活用されていると感じる住民の割合をアンケートによって評価を行うものであるが、指標に関連する事業に完了していないものがある。当初の目標値は、従前値から15%の増加を見込んだ60%を設定したが、整備済延長は当初見込んでいた整備延長の約1/2である。よって、目標値は約7.5%増加することを見込み、50%に変更した。
		提案事業	【地域創造支援事業】沼津市白隠のみち地区沿道緑化等促進事業	削除/追加の理由	白隠のみち地区での整備道路沿いの景観向上を図るため、新たに生垣、板垣等を設置(既存の塀等がある場合にはその撤去費用を含む)したものに、その費用の一部について、市が補助金を交付するものであったが、計画期間中に地区住民の申請が見込めないため、事業を削除。					地区の歴史的資源がまちづくりに活用されていると感じる住民の割合をアンケートによって評価を行うものであるが、指標に関連する事業に完了していないものがある。当初の目標値は、従前値から15%の増加を見込んだ60%を設定したが、整備済延長は当初見込んでいた整備延長の約1/2である。よって、目標値は約7.5%増加することを見込み、50%に変更した。	
	新たに追加した事業	基幹事業	【地域生活基盤施設】帯笑園(駐車場)	削除/追加の理由	帯笑園整備事業において、来訪者を多く確保することを目的に、利便性の向上を図るため、駐車場整備を新たに追加。					目標の達成につながるが、数値目標は据え置く。	
		提案事業	-	削除/追加の理由	-					-	
交付期間の変更	当初	平成23年度～平成26年度	変更	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響					-		

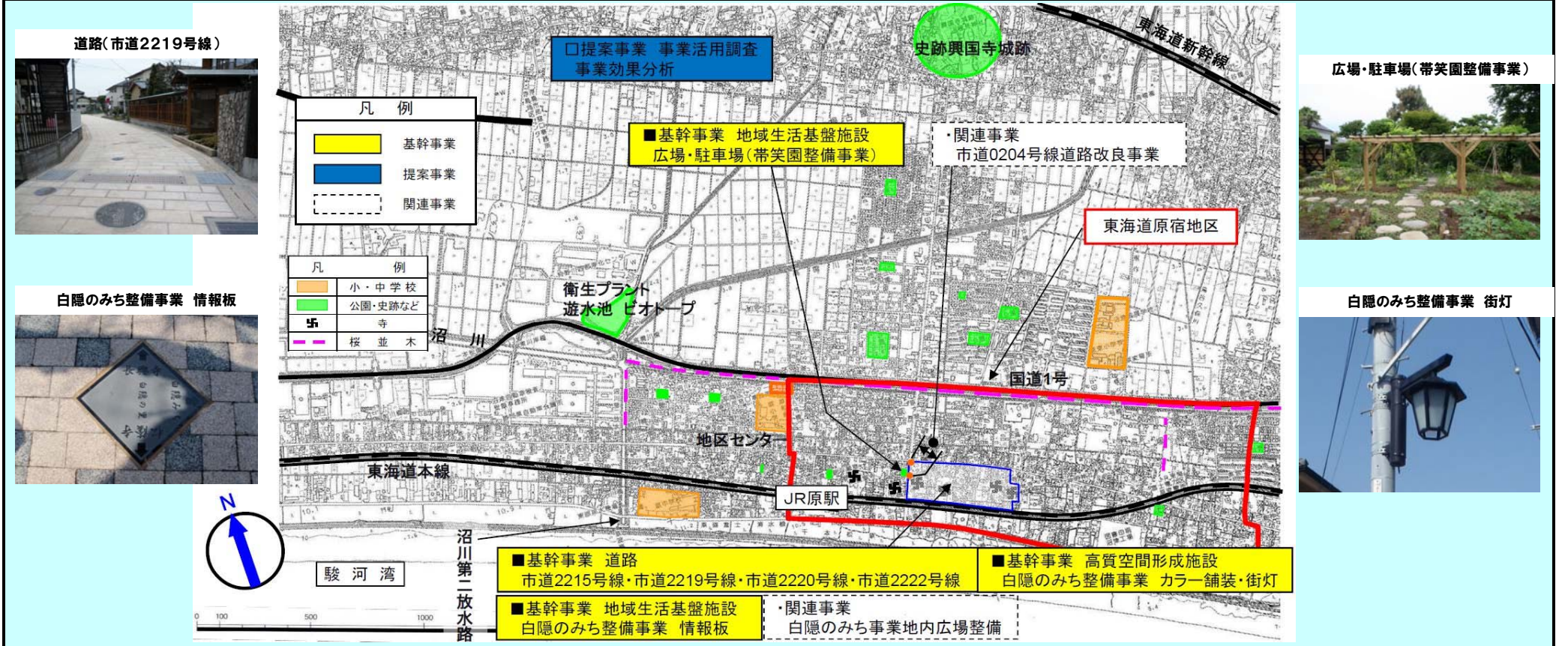
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
指標1	帯笑園の来園者数	人/年	0	H22	3,000	H26	-	-	-	あり	工事着工は平成26年度になる見込みであり、帯笑園の整備が完了していないため、来園者数を計測することができなかった。	-
										なし	●	
指標2	歴史的資源の活用への実感度	%	45	H22	50	H26	-	31	×	あり	事業に遅れが生じていること等から目標達成には至らなかった。	-
										なし	●	
指標3	まち並みの整備に対する実感度	%	45	H22	50	H26	-	35	×	あり	事業に遅れが生じていること等から目標達成には至らなかった。	-
										なし	●	

	指標		従前値		目標値		数 値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期
		単位		基準年度		目標年度	モニタリング	評価値				
3) その他の数値指標 (当初設定した数値 目標以外の指標)に よる効果発現状況	その他の 数値指標1	帯笑園見学会への参加者数	人/回	300	H22			341	383		帯笑園整備事業を進めることで帯笑園の認知度が向上し、見学会の参加者数の増加に繋がった。	H27.8
	その他の 数値指標2	帯笑園の認知度	%	43.9	H22			-	51.4		帯笑園整備事業を進めることで帯笑園の認知度の向上に繋がった。	-
	その他の 数値指標3	白隠禪師にゆかりのあるまちであることへの認知度	%	85.2	H22			-	88.8		白隠のみち整備事業により、白隠禪師にゆかりのあるまちなみであることへの認知度が向上した。	-
	その他の 数値指標4	個別事業評価の平均値	%	76.2	H22			-	77.5		各事業により、原の歴史・文化と調和する、風情あるまち並み形成が進んだ。	-
	その他の 数値指標5	帯笑園整備事業について	%	56.2	H22			-	63.1		帯笑園整備事業により、原の歴史のおよび文化的資源である帯笑園の魅力が向上した。	-
4) 定性的な効果 発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 白隠のみち整備区域は、インターロッキングブロック舗装や自然石舗装の整備によって、地域の歴史に合った落ち着いたあるまち並みの形成が進んでいる。 白隠のみち整備協議会により、官民協働のまちづくりが進み、参加者を中心にまちづくり意識が高まっている。 											
5) 実施過程の評価			実施内容				実施状況				今後の対応方針等	
	モニタリング	モニタリングを実施し、計画の変更状況、実施事業の進捗状況、指標の達成状況の確認を行った。				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				●	他地区の都市再生整備計画及び本地区の次期計画においても適宜モニタリングを実施していく。	
	住民参加 プロセス	白隠のみち整備にあたっては、平成17年度に地元自治会、商工会、寺院等の代表者によって設立された「白隠のみち整備協議会」と共に、整備内容の検討・合意形成を図り、官民協働によるまちづくりを実施。				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				●	今後についても、白隠のみち整備事業に対する整備方針や合意形成が円滑に進むように、「白隠のみち整備協議会」での取り組みへの支援を継続して、官民協働によるまちづくりを進めていく。	
	持続的なまちづくり 体制の構築	白隠のみち整備にあたっては、平成17年度に地元自治会、商工会、寺院等の代表者によって設立された「白隠のみち整備協議会」と共に、整備内容の検討・合意形成を図り、官民協働によるまちづくりを実施。				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				●	今後についても、白隠のみち整備事業に対する整備方針や合意形成が円滑に進むように、「白隠のみち整備協議会」での取り組みへの支援を継続して、官民協働によるまちづくりを進めていく。	

様式2-2 地区の概要

東海道原宿地区(静岡県沼津市) 都市再生整備計画の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
大目標: 原の資源を活用した、歴史・文化が薫るまちづくり 目標1: 原の歴史的資源の活用による、地区のにぎわいの再生 目標2: 地区の歴史・文化と調和する、風情あるまち並みの形成	帯笑園の来園者数 単位: 人/年	0	H22 3,000	H26 -
	歴史的資源の活用への実感度 単位: %	45	H22 50	H26 31
	まち並みの整備に対する実感度 単位: %	45	H22 50	H26 35



まちの課題の変化

- 白隠のみち整備事業や帯笑園整備事業等により、地域資源や歴史的資源の保全・活用、地区の歴史に相応しいまち並み形成は進んでいるものの、地区住民の「歴史的資源の活用への実感度」や「まち並みの整備に対する実感度」の達成までは至っていない。
- 白隠のみち地区は、平成25年12月に改定された沼津市景観計画で「白隠のこころと歴史を大切に、やすらぎの“白隠の里”」を地区の景観形成の目標とし、景観形成重点地区に位置づけられた。よって、景観計画の目標に相応しいまち並み形成が必要である。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- 引き続き歴史的資源の保全・活用や地区の歴史・文化に相応しいまち並み形成事業を実施すると共に、地区住民との協働による良好なまちづくりを図る。
- 地域資源・歴史的資源の保全・活用や地区の歴史・文化に相応しいまち並み形成を進めると共に、PRを強化し、地域の活性化を図る。